

コンピュータで得る自由

ICT社会教育センター伝言板 -series fifteen-



2020年は36.9万人、2030年には78.9万人のIT人材が不足するといわれる今、情報通信分野の技術者教育、専門知識の教育が課題となっています。大阪電気通信大学「ICT社会教育センター」は、初等中等学校教員向けのプログラミング教育のサポートなど各自治体の要請を受けて、社会貢献のために設立されました。このコーナーは、ICT社会教育センターの地域社会向けの伝言板です。さあ、子どもも大人も、楽しいプログラミングをどうぞ。

オンラインで前期授業と就職活動支援

電通大は、前期の遠隔授業が修了した。座学、プログラミング、実験などの科目を含めたリアルタイム配信型の講義では、動画でお互いの顔を確認でき、チャットを通しての質疑応答や資料の画面共有機能などで、効率よく学習できた。しかし、質疑応答はできるが、教員と学生全員とのインターネット通信環境が安定している必要がある。少しでも映像や音声途切れてしまえば、受講者にとってはストレスになる上、スムーズな授業の展開ができない。確かに授業開始当初は、機材調達が難しい時期とも重なり、環境に苦労した教員や学生が多かった面もあったが、大学側からの個々へのIT機器整備の提供などもあり、授業の進行に伴い安定して実施できた。また、配信授業を録画することをガイドラインで共有し、授業終了後に授業資料用サーバにアップロードする環境を整えたことにより、リアルタイムに参加でき

なかった学生や授業の際に聞き逃した内容を自分のペースで繰り返し学習できた。

特筆すべきは、前期期間の就職活動支援もオンライン上で行われたことだ。採用面接もオンライン面接が取り入れられているが、具体的な取り組みとしては、Google Meetや電話を用いた個々の相談への対応や、Google Meetを用いた合同企業説明会の実施、模擬面接の実施、メールでのエントリーシートの書き方指導、資料の配布なども行った。



遠隔授業の様子

つなぐ知 かなえる技

大阪電気通信大学

Osaka Electro-Communication University

電話：072-820-3871

メール：ict-edu@osakac.ac.jp

